

—平成 30 年 5 月—

# 平成 29 年度事業報告書及び収支決算報告書

平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで

公益財団法人 日本化学研究会

# 平成29年度事業報告書

公益財団法人 日本化学研究会

## I. 事業の状況

- ① 化学研究に対する助成（定款第4条第1号） 3,000,000 円

氏名	所属機関／職名	研究課題	助成金額
辻原 哲也	岩手医科大学薬学部／助教	ヘリセンを配位子骨格とするアレーン-スルホキシド配位子の開発とその機能評価	600,000 円
木村 寛恵	一関高専／助教	スーパーグロース法による新規高効率単層カーボンナノチューブ合成技術の開発	600,000 円
大楽 武範	奥羽大学薬学部／助教	金属を介した核酸塩基対形成を利用した一塩基多型の検出	600,000 円
石川 亮佑	新潟大学工学部／助教	ナノカーボン電極を用いた低環境負荷な鉛フリーペロブスカイト太陽電池の開発	600,000 円
小松 啓志	長岡技術科学大学／助教	新規な高圧相セラミックス膜の真密度ギャップ	600,000 円

- ② 化学情報の流通に関する研究及び事業に対する助成（定款第4条第2号） 600,000 円

氏名	所属機関／職名	研究課題	助成金額
猿渡 英之	宮城教育大学教育学部／教授	東北地方各地域の食生活と微量元素摂取に関するデータの集積と活用	600,000 円

- ③ 海外渡航に対する助成（定款第4条第3号） 0 円  
なし

④ 事業関係経費

事業関係理事間協議、各選考委員会開催、事業関係事務経費等に充当した。

## II. 庶務の概要

(1) 役員に関する事項

平成 30 年 3 月 31 日現在

職名	常勤・非常勤	氏名	就任(重任)年月日	担当職務	報酬	現職	備考
理事長	非常勤	西野 徳三	平 29. 6. 18	業務の総括	あり	東北大学名誉教授	平成 15. 5
常務理事	非常勤	松本 繁	平 29. 6. 18	会計	なし	東北大学名誉教授	平成 8. 5

常務理事	非常勤	飛田 博実	平 29.6.18	庶務・事業	なし	東北大学教授	平成 19.5
理事	非常勤	根東 義則	平 29.6.18		なし	東北大学教授	平成 25.8
理事	非常勤	中山 亨	平 29.6.18		なし	東北大学教授	平成 29.6
理事	非常勤	岩本 武明	平 29.6.18		なし	東北大学教授	平成 29.6
監事	非常勤	寶澤 光紀	平 29.6.18		なし	東北大学名誉教授	平成 15.5
監事	非常勤	伊藤 翼	平 29.6.18		なし	東北大学名誉教授	平成 17.5

◇備考の年月は最初の就任の年月。

(2) 評議員に関する事項

平成 30 年 3 月 31 日現在

職名	常勤・非常勤	氏名	就任(重任)年月日	報酬	現職	備考
評議員	非常勤	池上 雄作	平成 29.6.18	なし	東北大学名誉教授	
評議員	非常勤	古山 種俊	平成 29.6.18	なし	東北大学名誉教授	
評議員	非常勤	山田 宗慶	平成 29.6.18	なし	東北生活文化大学長・ 東北大学名誉教授	

(3) 職員に関する事項

平成 30 年 3 月 31 日現在

職名	常勤・非常勤	氏名	就任年月日	担当事務	手当	備考
事務局長	非常勤 (常勤職員なし)	西野 徳三	平成29.6.18	庶務・会計	なし	理事長が兼務

(4) 会議等に関する事項

①理事会

開会年月日	議事事項	会議の結果
29年5月28日、第183回理事会	<p>1. 平成 28 年度の事業報告書及び収支決算報告書(案)について(配布資料-2)</p> <p>平成 28 年度の事業報告書及び収支決算報告書について会計担当常務理事及び理事長から詳しい説明があり、引き続き監事による監査報告がなされ、審議した。</p> <p>2. 平成 29 年度化学研究連絡助成事業の選考について(添付資料-3)</p> <p>今年度は化学研究助成に 10 件、情報研究助成に 1 件、海外渡航助成に 0 件の応募があり、その選考結果について化学研究の選考委員長の飛田常務理事から説明があった。また、化学情報研究の選考結果について選考委員長の松本常務理事から説明があり、</p>	<p>全員一致で承認・可決した</p> <p>全員一致で承認・可決した</p>

	<p>審議した。</p> <p>3. 公益財団法人日本化学研究会 理事・監事及び評議員の報酬並びに費用に関する規程の一部変更について（配付資料-4） 3月4日開催の第182回理事会において承認された「報酬並びに費用に関する規程」に施行日を入れることについて審議した。理事会承認後は次回の評議員会に諮ることとした。</p> <p>4. 公益財団法人日本化学研究会「理事・監事及び評議員の報酬並びに費用に関する規程施行細則」の制定について（配付資料-5） 上記「報酬並びに費用に関する規程」の実施細則について審議した。理事長報酬は仕事量等から勘案し、さらに法人運営に必要な有能な人材を確保する観点からも第3議題で議決した上限としたらどうかとの意見が多く、多くの役員から提議されたが評議員会で諮ることとした。それ以外は全会一致で議決承認され、次回の評議員会で報酬金額等も含めて諮り、決議することとした。</p> <p>5. 日本化学研究会役員の改選について 監事、理事共に6月で改選となる。定款第18条3項に則って、次の定時評議員会で評議員から候補者名が提示され、採決して決めることになるとの説明があり、了承した。現時点で、評議員間で議論されている予定候補者名が口頭で示された。</p> <p>6. その他 次回の定時評議員会の日時決定 6月18日（日曜日）午前11時30分から「はや瀬」にて開催することとした。</p>	<p>全員一致で承認・可決した</p> <p>全員一致で承認・可決した</p> <p>全員一致で承認・可決した</p> <p>全員了承した</p>
平成29年6月18日、第184回理事会	<p>1. 次期理事長（代表理事）の選定について 理事会に先立つ第87回評議員会において理事が改選された。それに伴い、定款第21条第2項により理事会の決議により新理事の中から理事長を選定することになっているので審議した。その結果、理事長に西野徳三理事が再任された。</p> <p>2. 次期常務理事（業務執行理事）の選定について 定款第21条第2項により理事会の決議によって理事の中から選定することになっているので審議した。その結果、常務理事（業務執行理事）に飛田博実理事（事業担当）と、松本繁理事（会計担当）が選任された。</p>	<p>全員一致で承認・可決した</p> <p>全員一致で承認・可決した</p>
平成29年11月4日、第185回理事会	<p>1. 平成30年度化学研究連絡助成事業の募集（案）について（配付資料-2） 次年度の交付申請要項について審議した。</p> <p>2. 化学研究連絡助成選考委員会委員の選定について（配付資料-3） 各種選考委員の改選を行った。各理事から推薦があり、常務理事会</p>	<p>全員一致で承認・可決した</p> <p>全員一致で承認・</p>

	<p>でまとめた委員の原案を基に審議して決定した。又、それぞれの委員会の委員に選任された理事の中から委員長を選任した。</p> <p>3. 公益財団法人日本化学研究会における「化学研究連絡助成資金に関する規程」の一部変更について（配付資料-4）</p> <p>前回の評議員会で指摘のあった旧財団法人の「基金規程」を実質的に継承して「資金に関する規程」に変更することについて審議した。</p> <p>4. その他について</p> <p>(1) 定款、報酬規程、報酬支給の基準の変更を内閣府へ変更を届け出、手続きが完了した旨の経過説明がなされた。</p> <p>(2) 平成 29 年度「公益認定申請及び公益法人の運営に関する簡易セミナー及び相談会」に出席した報告が参考資料をもとになされた。</p>	<p>可決した</p> <p>全員一致で承認・可決した</p> <p>全員了承した</p>
平成 30 年 2 月 24 日、第 186 回理事会	<p>1. 平成 30 年度事業計画書及び正味財産増減予算書（案）について（配付資料-2）</p> <p>平成 29 年度の予算の執行状況を踏まえ、30 年度予算案を作成した趣旨説明がなされ審議した。退職給付引当金の取り扱いについて若干の意見交換がなされた。併せて、平成 30 年度の特定期間取崩額を 8,150,000 円（案）とすることも審議した。</p>	<p>全員一致で承認・可決した</p>

## ② 評議員会

開会年月日	議 事 事 項	会議の結果
平成 29 年 6 月 18 日、第 87 回評議員会	<p>1. 平成 28 年度の事業報告書及び収支決算報告書について（評議員会配付資料 2）</p> <p>定款第 11 条及び第 183 回理事会（5 月 28 日）において議決した「平成 28 年度事業報告書及び収支決算報告書」について諮った。</p> <p>2. 今定時評議員会でいずれも任期満了となる公益財団法人日本化学研究会の評議員、監事、理事の改選について次のようにそれぞれ選任を行った。</p> <p>評議員について</p> <p>定款第 11 条により評議員会に推薦された 3 名について各候補者ごとに選任を行い、</p> <p>池上雄作 全会一致で選任され、就任を承諾した。</p> <p>古山種俊 全会一致で選任され、就任を承諾した。</p> <p>山田宗慶 全会一致で選任され、就任を承諾した。</p> <p>監事の改選について</p> <p>定款第 18 条 3 項に則って次の候補者の氏名を提示し、各候補者ごとにそれぞれ選任を行い、</p>	<p>全員一致で承認した</p> <p>全員一致で左記のごとくそれぞれ承認した</p>

伊藤 翼 全会一致で選任され、就任を承諾した。  
 寶澤光紀 全会一致で選任され、就任を承諾した。  
 それ以外の候補については過半数の賛成が得られず選任されなかった。

理事の改選について

定款第 18 条 3 項に則って次の候補者の氏名を提示し、候補者ごとにそれぞれ選任を行い、

西野徳三 全会一致で選任され、就任を承諾した。  
 松本 繁 全会一致で選任され、就任を承諾した。  
 飛田博実 全会一致で選任され、就任を承諾した。  
 根東義則 全会一致で選任され、就任を承諾した。  
 中山 亨 全会一致で選任され、就任を承諾した。  
 岩本武明 全会一致で選任され、就任を承諾した。

その他の候補者については過半数の賛成が得られず選任されなかった。

従って新たな評議員は 池上雄作、古山種俊、山田宗慶の 3 名

監事は 伊藤 翼、寶澤光紀の 2 名

理事は 西野徳三、松本 繁、飛田博実、根東義則、中山 亨、岩本武明の 6 名に議決し、それぞれ就任を承諾した。

- |   |   |
|---|---|
| <p>3. 公益財団法人日本化学研究会定款の一部変更について(評議員会配付資料 3 )</p> <p>立入検査で指摘され、第 182 回理事会(3 月 4 日)で「公益財団法人日本化学研究会定款」の報酬の部分(第 13 条及び第 26 条)を変更した件を審議した。</p>            | <p>全会一致<br/>         で議決・<br/>         承認した</p> |
| <p>4. 公益財団法人日本化学研究会理事・監事及び評議員の報酬並びに費用等に関する規程における役員等への報酬等の総額及び支給の基準について(評議員会配付資料 4 )</p> <p>定款第 26 条により、役員等へ報酬を支給することになったのでその総額等の基準を制定する件を審議した。</p>  | <p>全会一致<br/>         で議決・<br/>         承認した</p> |
| <p>5. 公益財団法人日本化学研究会 理事・監事及び評議員の報酬並びに費用等に関する規程の一部変更について(評議員会配付資料 5 )</p> <p>立入検査で指摘され、第 183 回理事会(5 月 28 日)で議決承認された規程の一部変更に関して審議した。</p>               | <p>全会一致<br/>         で議決・<br/>         承認した</p> |
| <p>6. 公益財団法人日本化学研究会理事・監事及び評議員の報酬並びに費用等に関する規程 施行細則 の制定について(評議員会配付資料 6 )</p> <p>第 183 回理事会(5 月 28 日)で一部変更が議決・承認された上記規程の施行細則の制定を承認したが、評議員会にても審議した。</p> | <p>全会一致<br/>         で議決・<br/>         承認した</p> |
| <p>7. 平成 29 年度化学研究連絡助成応募者一覧(評議員会配付資料 7 )</p>  | <p>全会一致</p>                                     |

	<p>第 183 回理事会で決定した平成 29 年度の助成金採択者の確認を行った。</p>	<p>です承した</p>
8.	<p>平成 29 年度の事業計画書及び収支予算書について(評議員会配付資料 8 )</p> <p>第 182 回理事会で決定した平成 29 年度の事業計画書及び収支予算書について(評議員会配付資料 9 )説明を行った。</p>	<p>全会一致です承した</p>
9.	<p>その他</p> <p>(1) 平成 28 年度の監査報告書(評議員会配付資料 9 )</p> <p>(2) 第 183 回理事会(5 月 28 日)議事録(評議員会配付資料 10 )等の確認を行った。</p>	

③選考委員会 (平成 29 年度化学研究連絡助成金交付者の選考)

開会年月日	議 事 事 項	会議の結果
[化学研究選考委員会]		
平成 29 年 5 月 21 日	1. 申請 10 件のうち 5 件の採択を決め、理事会に報告することとした。	全会一致で承認した
[情報研究・事業選考委員会]		
平成 29 年 5 月 22 日	1. 申請 1 件につき審議した結果 1 件の採択を決め、理事会に報告することとした。	全員一致で承認した
[海外渡航選考委員会]		
	応募者なし。	

(5) 許可、認可、承認、証明等に関する事項  
なし

(6) 契約に関する事項

契約年月日	相手方	契約の概要
「該当なし」		

(7) 寄附金に関する事項

寄附の目的	寄付者	申込金額	受領金額	備考
「該当なし」				

(8) 主務官庁指示に関する事項

指示年月日	指 示 事 項	履 行 状 況
「該当なし」		

(9) その他の重要事項（官公庁関係事項）

- 6月22日 仙台北税務局へ評議員、監事、理事、理事長（代表理事）改選の登記を行った。
- 6月26日 内閣府へ平成28年度の事業報告書をポータルサイトから送信した。
- 7月24日 内閣府へ「定款」、「報酬並びに費用等に関する規程」、「報酬等の総額及び支給の基準」の変更の届出、理事及び理事長の改選等を届けた。
- 12月1日 6月に提出した平成28年度の事業報告書の修正の依頼が内閣府からあり、修正を行い、12月25日に最終的に完了した。
- 1月23日 仙台北税務署に平成29年分給与所得の源泉徴収票等の法定調書合計表を、仙台市財政局税務部市民税課特別徴収係へ平成29年分の給与支払総括票を提出した。さらに、七十七銀行にて源泉徴収した税金を納税した。

以 上

## 収支計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(公財)日本化学研究会  
(単位：円)

科 目	平成29年度 予算額	平成30年3月末日 決算額	差 異	備 考
I 収入の部				
1 基本財産運用益				
(1) 定期預金受取利息				
:みずほ信託銀行仙台支店	8,750	8,788	38	
2 運用財産運用益				
(1) 定期預金受取利息				
:みずほ信託銀行仙台支店	19,000	19,046	46	
(2) 普通預金受取利息				
:みずほ信託銀行仙台支店	0	56	56	
他1行				
(3) 株式配当金	900,000	1,318,395	418,395	
3 雑収入	0	0		
(1～3 小計)	919,000	1,346,285	427,285	
4 特定資産取崩収入				
・化学研究連絡助成資金 積立預金取崩収入	8,400,000	5,000,000	△ 3,400,000	
当期収入合計 (A)	9,319,000	6,346,285	△ 2,972,715	
前期繰越収支差額	1,398,795	3,032,490	1,633,695	
収入合計 (B)	10,717,795	9,378,775	△ 1,339,020	

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
Ⅱ 支出の部				
1 事業費				
・化学研究助成費	3,000,000	3,000,000	0	5件
・情報研究・事業助成費	1,000,000	600,000	△ 400,000	1件
・海外渡航助成費	1,000,000	0	△ 1,000,000	0件
・事業執行経費	2,170,000	1,600,563	△ 569,437	
(事業費合計)	7,170,000	5,200,563	△ 1,969,437	注1
2 管理費				
・給料手当	400,000	335,000	△ 65,000	
・退職給付引当金	0	220,000	220,000	注2
・会議費	150,000	105,791	△ 44,209	
・旅費交通費	300,000	449,000	149,000	注3
・通信運搬費	50,000	167,673	117,673	注4
・消耗品費	20,000	5,567	△ 14,433	
・印刷製本費	200,000	140,724	△ 59,276	注4
・事務室経費	800,000	751,451	△ 48,549	
・保険料	0	0	0	
・諸謝金	200,000	50,000	△ 150,000	
・租税公課	0	0	0	
・雑費	100,000	4,768	△ 95,232	
(管理費合計)	2,220,000	2,229,974	9,974	
当期支出合計 (C)	9,390,000	7,430,537	△ 1,959,463	
Ⅲ 収支差額				
当期支出差額 (A) - (C)	△ 71,000	△ 1,084,252	△ 1,013,252	
次期繰越収支差額(B) - (C)	1,327,795	1,948,238	620,443	

注1 海外渡航助成の該当者がなく、情報研究・事業助成の該当者も少なかったため

注2 平成29年度より引当金として計上することになったため

注3 役員改選時で会合が増えたため

注4 印刷製本費項目で一括支払の”通信セキュリティー対策費用”が通信運搬費に移行したため

## 正味財産増減計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで (公財) 日本化学研究会

(単位: 円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合 計
1一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	0	8,788	8,788
基本財産受取利息	0	8,788	8,788
特定資産運用益	1,337,497	0	1,337,497
特定資産受取利息	19,102	0	19,102
特定資産受取配当金	1,318,395	0	1,318,395
雑収益	0	0	0
経常収益計	1,337,497	8,788	1,346,285
(2) 経常費用			
事業費	5,200,563		5,200,563
給料手当	180,000		180,000
臨時雇賃金	0		0
選考経費	374,000		374,000
通信運搬費	91,244		91,244
印刷製本費	189,153		189,153
事務室関係費	746,941		746,941
事業事務経費	13,501		13,501
支払助成金	3,600,000		3,600,000
謝金及び雑費	5,724		5,724
管理費		2,229,974	2,229,974
給料手当		335,000	335,000
退職給付引当金		220,000	220,000
会議費		105,791	105,791
旅費交通費		449,000	449,000
通信運搬費		167,673	167,673
印刷製本費		140,724	140,724
事務室経費		751,451	751,451
消耗品費		5,567	5,567
諸謝金		50,000	50,000
雑費		4,768	4,768
経常費用計	5,200,563	2,229,974	7,430,537
当期経常増減額	△ 3,863,066	△ 2,221,186	△ 6,084,252
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
有価証券当期評価損益	3,544,885	0	3,544,885
経常外収益計	3,544,885	0	3,544,885
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	3,544,885	0	3,544,885
当期一般正味財産増減額	△ 318,181	△ 2,221,186	△ 2,539,367
一般正味財産期首残高	258,267,183	28,995,317	287,262,500
一般正味財産期末残高	257,949,002	26,774,131	284,723,133

## 貸借対照表

平成30年3月31日現在

(公財) 日本化学研究会

(単位:円)

科 目	当 年 度	平成29年3月31日	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	1,948,238	3,032,490	△ 1,084,252
流動資産合計	1,948,238	3,032,490	△ 1,084,252
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	35,000,000	35,000,000	0
基本財産合計	35,000,000	35,000,000	0
(2) 特定資産			
化学研究連絡助成資金	195,000,000	200,000,000	△ 5,000,000
有価証券	52,774,895	49,230,010	3,544,885
退職給付引当資産	220,000	0	220,000
特定資産合計	247,994,895	249,230,010	△ 1,235,115
(3) その他の固定資産			
その他の固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	282,994,895	284,230,010	△ 1,235,115
<b>資 産 合 計</b>	284,943,133	287,262,500	△ 2,319,367
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債	0	0	0
2. 固定負債			
退職給付引当資産	220,000	0	220,000
<b>負 債 合 計</b>	220,000	0	220,000
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 一般正味財産	284,723,133	287,262,500	△ 2,539,367
(うち基本財産への充当額)	35,000,000	35,000,000	0
(うち特定資産への充当額)	247,994,895	249,230,010	△ 1,235,115
<b>正 味 財 産 合 計</b>	284,723,133	287,262,500	△ 2,539,367
<b>負債および正味財産合計</b>	284,943,133	287,262,500	△ 2,319,367

退職慰労金の支給に備えるため、退職給付引当金を計上しており「財務諸表に対する注記」に注記している。

## 財産目録

平成30年3月31日現在

(公財) 日本化学研究会

科 目	金 額 (単位:円)		
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金・預金			
・現金 現金手許有高	68,683		
・普通預金:みずほ信託銀行仙台支店	435,120		
・普通預金:七十七銀行旭ヶ丘支店	1,444,435		
流動資産合計		1,948,238	
2. 固定資産			
(1)基本財産			
・定期預金: みずほ信託銀行仙台支店	35,000,000		
基本財産合計	35,000,000		
(2)特定資産			
化学研究連絡助成資金			
・定期預金:みずほ信託銀行仙台支店	181,000,000		
・定期預金:七十七銀行吉成支店	14,000,000		
有価証券(株券)			
・三菱ケミカルHD(株) 24,800株	25,556,400		
・旭硝子(株) 6,179株	27,218,495		
退職給付引当資産:七十七銀行本店	220,000		
特定資産合計	247,994,895		
固定資産合計		282,994,895	
<b>資産合計</b>			<b>284,943,133</b>
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債	0		
流動負債合計		0	
2. 固定負債	0		
退職給付引当資産		220,000	
固定負債合計		220,000	
<b>負債合計</b>			<b>220,000</b>
<b>正味財産</b>			<b>284,723,133</b>

## 財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

特定資産である有価証券(株券)は、本年度期末日の市場価格に基づく時価法によっている。評価額は次の通りである。

2. 有価証券の評価価格は次のとおりである。

	三菱ケミカル HD	旭硝子*	計
株数	24,800	30,895	55,695
取得価格	1,431,547	1,444,940	2,876,487
平成 29 年 3 月 31 日現在評価：平成 29 年度期首			
株数	24,800	30,895	
株価	861.4	902	
評価額	21,362,720	27,867,290	49,230,010
当期評価損益	6,792,720	8,835,970	15,628,690
平成 30 年 3 月 31 日現在評価：平成 30 年度期首			
株数	24,800	6,179	
株価	1,030.5	4,405	
評価額	25,556,400	27,218,495	52,774,895
当期評価損益	4,193,680	△ 648,795	3,544,885
発行株数	1,506,288,107	231,978,181	
持株比率	0.0001646%	0.002664%	

\*旭硝子の株式は 2017 年 7 月 1 日付で旧株式 5 株を新株式 1 株に株式併合が行われた。

3. 引当金の計上

役員退職給付引当金

役員退職慰労金の支給に備えるため内規に基づく期末支給額を計上している。

4. 基本財産、特定資産及びその他固定資産の増減額 及びその残高(引当金の明細)

(単位:円)

科目	資産の種類	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
				目的使用	その他	
特定資産	退職給付引当金	0	220,000	0	0	220,000

以上

(平成 30 年 3 月 31 日現在)